

13. くい込み継手用締付装置 (PSD-S)

(1). 締付装置PSD-Sの構造と機能

本装置は下図に示すように、カム機能により、管外径 $\phi 4 \sim \phi 20$ 、1/8B～3/8B用のくい込み継手の予備締付けを行うものです。

レバーを下方に押しつけることにより、押し棒に取付けられた締付治具は、偏心軸（カム）の作用で締付板側へスライドしスリーブを管にくい込ませます。

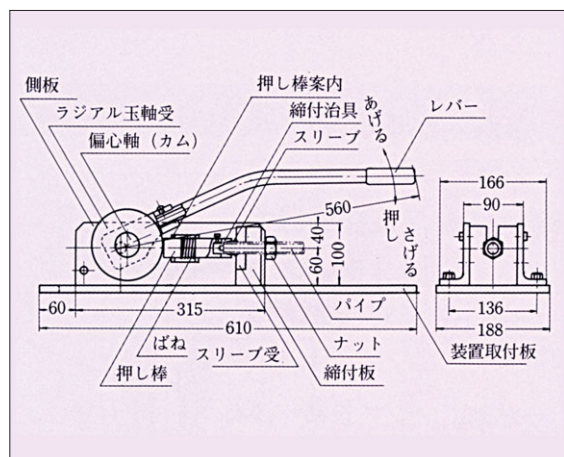


図-1 締付装置機構図 装置重量 17kg

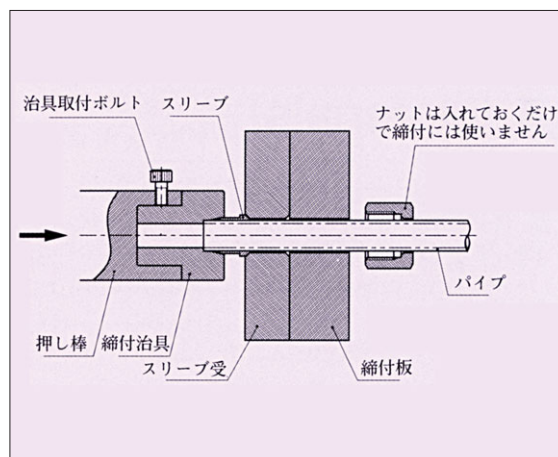


図-2 締付部詳細図

(2). 標準部品（別売）

本装置（PSD-S）による予備締付けには、右表より管外径に適した締付治具及びスリーブ受を選定の上ご使用ください。

なお、締付装置本体と締付治具・スリーブ受とは別売りとなります。

管外径	締付治具	スリーブ受
4	PJS04-000N (PSD-SJ-4)	PJU04-00SN (PSD-SU-4)
6	PJS06-000E (PSD-SJ-6)	PJU06-00SE (PSD-SU-6E)
8	PJS08-000E (PSD-SJ-8)	PJU08-00SE (PSD-SU-8E)
10	PJS10-000E (PSD-SJ-10)	PJU10-00SE (PSD-SU-10E)
12	PJS12-000E (PSD-SJ-12)	PJU12-00SE (PSD-SU-12E)
15	PJS15-000E (PSD-SJ-15)	PJU15-00SE (PSD-SU-15E)
16	PJS16-000E (PSD-SJ-16)	PJU16-00SE (PSD-SU-16E)
18	PJS18-000E (PSD-SJ-18)	PJU18-00SE (PSD-SU-18E)
20	PJS20-000E (PSD-SJ-20)	PJU20-00SE (PSD-SU-20E)
1/8B	PJS11-000N (PSD-SJ-G1/8)	PJU11-00SN (PSD-SU-G1/8)
1/4B	PJS13-000E (PSD-SJ-G1/4)	PJU13-00SN (PSD-SU-G1/4)
3/8B	PJS17-000N (PSD-SJ-G3/8)	PJU17-00SN (PSD-SU-G1/8)

(3). 注意事項

1) 管は直角に切断し、管端内外面のバリを取ってください。

⚠ 注意：管端の切断角度は $90^\circ \pm 1^\circ$ 以内を目安に切断してください。

又、管表面には深さ0.1mm以上のキズを付けないようにしてください。

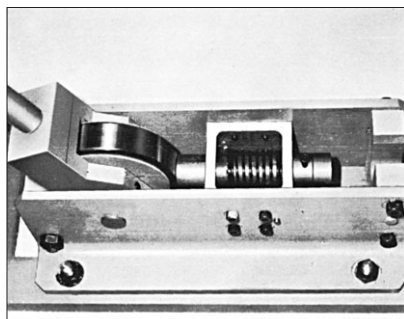
2) 曲管の場合、その管端部の直線長さは80mm以上とってください。

3) 本装置の可動部には適宜注油してください。

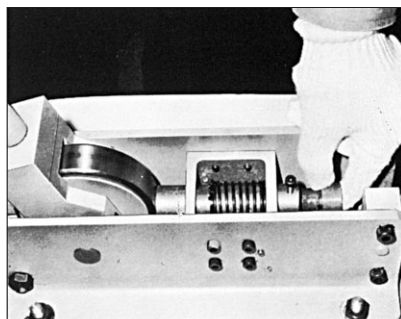
⚠ 注意：装置や治具を改造しないでください。

改造が原因で、装置の機能が発揮できなくなる可能性があります。

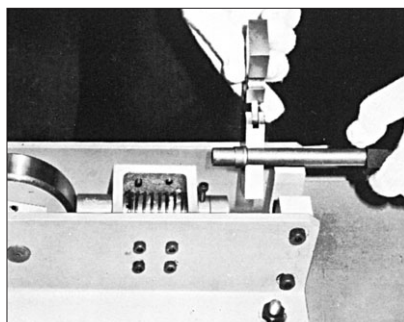
(4). 締付装置PSD-Sの操作方法



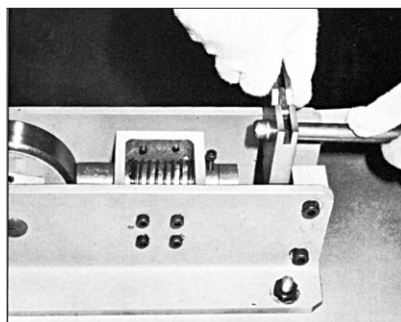
①レバーをあげ、押し棒と締付板との間をあけます。



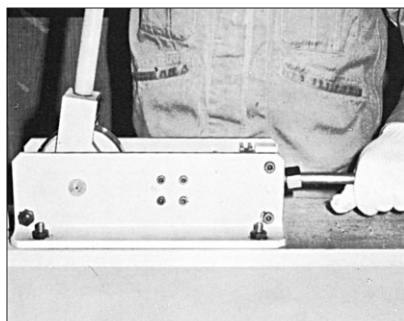
②管と同じサイズの締付治具を取りつけます。



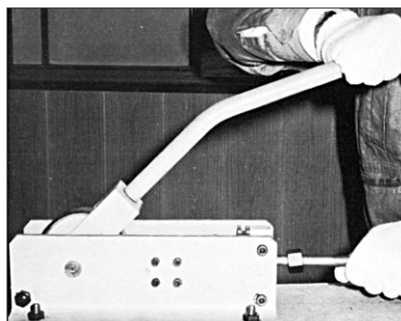
③ナット・スリーブの順序・方向をまちがえないように管へ挿入し、ナットとスリーブの間にスリーブ受をセットします。
△警告：
スリーブの方向に注意してください。逆に取付けますと管へのくい込みが毎られず管抜け事故の原因となります。



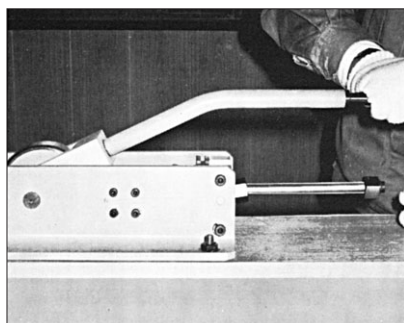
④そのまま締付装置に取りつけます。



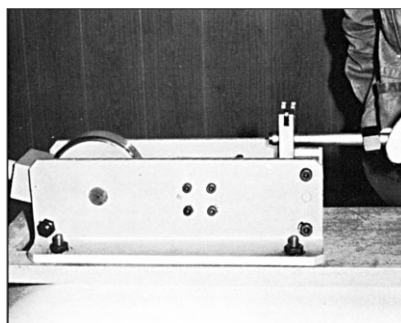
⑤管端を締付治具の管突き当て部に確実に当てます。
△警告：
管端が、管突き当て部より浮いた状態で締付けますと充分なくい込み状態が得られず管抜け事故の原因となります。



⑥レバーを押し下げます。



⑦レバーが動かなくなるまで締付けます。
△注意：
レバーは突当るまで確実に押し下げてください。



⑧レバーをあげ、締付部分をゆるめ、二つ割りのスリーブ受とともに管を取りはずします。
以上で予備締付けは完了です。

(5). 注意事項

予備締付けの終わった管を実際の配管場所にて継手本体に取付けます。この時、ナットをスパナで締付けて行くと急に手ごたえが増す点があり、(シャープトルクライズポイント) この点からさらに1/4回転締付けると取付けは完了します。

△警告：ナット締付けの際は足場を確保し、周囲の安全を確認してください。

△注意：締め不足は漏れや管抜けの原因となります。

又、過剰な締付けは継手を損傷し、機能を損なう恐れがあります。

△注意：プリセット後のスリーブ及び継手本体のテーパ穴面は組付前にウェス、エアー等で清掃してください。

異物の噛み込みはシール機能を損なう恐れがあります。